



飛鶴の森林から

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

第12回 森林再生小委員会

11月14日(水)、釧路地方合同庁舎において釧路湿原自然再生協議会第12回森林再生小委員会が開催されました。森林再生小委員会は協議会の下に設置された六つの小委員会の一つで、森林の再生に関する計画とその実施状況、モニタリング結果等を検討するものです。

当日は、個人委員2名、団体委員4名及び関係行政機関が参加して、国有林野が実施している「雷別地区自然再生事業」及び環境省の「達古武地域自然再生事業」について事業担当者からの説明の後、意見交換が行われました。



↑ 事業内容を説明する担当者



小委員会会議の様子 ↑

科学の祭典「サイエンス屋台村」

11月3日(土:文化の日)、釧路市子ども遊学館を会場に、青少年のための科学の祭典釧路大会サイエンス屋台村(主催:NPO 法人北海道科学活動ネットワーク)が開催されました。

この催しは、科学教育者などが実験を通じて児童・生徒に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的に、北海道教育大学釧路校等の教育機関や釧路地方気象台等の行政機関31団体・35演題を設け、主に物理、科学分野の演示実験や体験教室が開かれました。

当センターは、アクリル封入された稚樹・葉・種子や木片などを、デジタル顕微鏡で拡大して観察を行う生物分野の体験ブースとして出展しました。

参加した子ども達は、木片の木目やドングリの殻斗(ぼうし)、アクリルの中に入った紅葉などを拡大して見るたびに、驚きの声を上げながら夢中で観察をしていました。



↑ 観察し終えた子ども達からは、たくさんの「楽しかった!」の声が聞かれました。 ↑



平成24年度 第4回活動 (11月21日)

「雷別ドングリ倶楽部」



11月21日(水)、会員14名が参加して今年度4回目の活動をパイロットフォレスト国有林で行いました。今回の活動は①「飾り炭作り」、②「環境教育用資材の収集」、③「森林環境教育工作実習」を行いました。

飾り炭作りでは、定番となっている松ぼっくりの他にホオズキやクリのイガなどを持ち寄り飾り炭作りを行いました。

環境教育用資材の収集では、ドイツトウヒ・ストローブマツ・ヨーロッパアカマツ・アカエゾマツ・カラマツの松ぼっくりをビニール袋一杯に集めました。集めた松ぼっくりは来年度の環境教育資材として十分に乾燥させ森林教室や木工教室で使用したり、飾り炭の材料として活用することとしています。

森林環境教育工作実習では、本日収集した松ぼっくりは水分が多いため使用することが出来ないの、以前から蓄えていた松ぼっくりを使用して、クリスマスミニツリーやかわいい置物などを作成しました。

↓ 森林の中で資材収集中



↓ 工作実習中



龍の置物 ↑



← 完成したクリスマスツリー



木とふれあう機会の提供 2012「木育・森づくりパネル展」開催

11月10日(土)・11日(日)、イオンモール釧路昭和コンサート広場で、釧路地域の森づくりや緑化活動等を知ってもらうことを目的として、くしろ森林と緑の会(釧路町村会で構成する地域づくり広域プロジェクト環境保全型森づくりPTと釧路総合振興局管内の市町村などで構成)が主催する、2012「木育・森づくりパネル展」が開催されました。

10日に行われた木とのふれあい体験コーナーには、当センターと根釧西部森林管理署が合同で「鳥の巣箱作り」を出展し、来店した親子などに巣箱作りを体験してもらいました。

また、この他のコーナーでは木のイス作り、松ぼっくりを使ったクリスマスツリー作り等の木とのふれあい体験や、木の玉のプールや木製玩具で遊ぶ「木育ひろば」なども設けられ、多くの家族連れでにぎわいました。



巣箱作りに参加した親子に作り方を指導 ↑

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp